

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2003-501842(P2003-501842A)

【公表日】平成15年1月14日(2003.1.14)

【出願番号】特願2001-502631(P2001-502631)

【国際特許分類】

H 05 K	7/20	(2006.01)
H 01 L	23/40	(2006.01)
H 05 K	7/12	(2006.01)

【F I】

H 05 K	7/20	E
H 01 L	23/40	E
H 05 K	7/12	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ストップと逆目部分を含む軸と、

前記軸から内側に湾曲した形状延び、スプリング・アームの一部が、前記逆目部分と前記ストップの間で、前記軸を超えて延びるスプリング・アームとを備える電子アセンブリのためのファスナ。

【請求項2】逆目部分を有する第1端、ストップ、および第2端を含む第1軸と、前記逆目部分と前記ストップの間で、前記第1軸を超えて延びる部分を有する第1スプリング・アームと、

逆目部分を有する第1端、ストップ、および第2端を含む第2軸と、

前記逆目部分と前記ストップの間で、前記第2軸を超えて延びる部分を有する第2スプリング・アームと、

前記第1軸の前記第2端を前記第2軸の前記第2端に接続する接続ロッドとを備える、電子アセンブリのためのファスナ。

【請求項3】カバーと、

熱要素と、

前記カバーと前記熱要素の間に配置された基板と、

前記カバーを前記熱要素に装着するファスナとを備え、前記ファスナが、

(i)ストップと逆目部分を含み、前記カバーに装着されている軸と、(ii)前記軸から内側に湾曲した形状延び、スプリング・アームの一部が、前記ストップと前記逆目部分との間で、前記軸を超えて延び、前記熱要素上に力を働かせるスプリング・アームとを含む、電子アセンブリ。

【請求項4】熱要素のクリアランス孔を通して、ファスナの軸の第1端部の逆目部分を挿入すること、

軸の逆目部分を、基板のクリアランス孔を通して挿入すること、および

軸の逆目部分をカバーのボスに挿入し、スプリング・アームの部分が、逆目部分とストップの間で軸を超えて延び出し、軸から内側に湾曲した形状に構成されているファスナのスプリング・アームが、熱要素上に力を働かせるようにすることを含む、電子アセンブリ

を組み立てる方法。

【請求項 5】 ストップと逆目部分を含む軸と、

前記軸から延び、スプリング・アームの一部が、前記逆目部分と前記ストップの間で、前記軸を超えて延びるスプリング・アームとを備える、電子アセンブリのためのファスナ。